

～院長コラム～

『2年前から続く過敏性胃腸症候群に 桂枝加竜骨牡蠣湯が有効だった1例』

18歳男子です。高3、受験生です。
2年前から過敏性胃腸症候群で困っています。
おなかのガスが多く、水様性の下痢、軟便が治りません。
総合病院で検査を受けるも、特別な病気は見つかりませんでした。
漢方専門医を受診し柴胡桂枝湯(さいこけいしとう)を処方されましたが、全く変わりません。腹痛があれば芍薬甘草湯(しゃくやくかんぞうとう)を追加していたそうです。
体格は中肉中背で、空手2段の腕前で筋肉質です。冷えなし、空腹時はおなかゴロゴロなり、おならが多い、下腹部が時々痛くなります。
診察すると、おなか全体が緊張しています(腹直筋がピンと張っています)。
確かに、このお腹を診ると、柴胡桂枝湯を出したくなります。
でも効かないんですね。診断はついているのですから、彼の体質を考えて、いくつか漢方薬を試しましょうという話になりました。
おなかゴロゴロ鳴る、というキーワードを頼りに、半夏瀉心湯(はんげしゃしんとう)を出しました。
1週間後再診。「軟便が出るも困らない感じ」と。休んでいた空手を再開できた。
おなかのガスが多いので、香蘇散(こうそさん)を追加。
さらに3週間後再診。寒い日が調子悪い、朝起きて2回下痢、学校に行って3回軟便、おならが出ると。自宅では調子いいが、学校ではダメだと。
これは、精神的な要素が強いのだろうと考え、神経的にウツウツとしているのかな、神経をすり減らしているのかな、と考え桂枝加竜骨牡蠣湯(けいしかりゅうこつぱれいとう)を処方しました。
2週間後再診。「今までの漢方薬で、これが一番いい！下痢があるが気にならない、長い時間の模試でも大丈夫だった」やっと思つかりました、コレです！桂枝加竜骨牡蠣湯のみを当面飲むことにしました。
メンタルから攻めたら、腸が治りました。

「こども健康ネットブログ」より



なかしまこどもネット QRコード
※名前を入力して送信して下さい



こども健康ネットブログ
QRコード

なかしまこどもクリニック



通信

2016年6月号

なかしまこどもクリニック 瑞穂市十九条(パロー北)

ホームページ www.n-kodomo.com

診療時間		月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	
午後	14:00~15:00		△			△		
	16:00~18:30	○	○		★	○		

★:漢方外来 14:00~17:30 受付 △:乳幼児健診及び予防接種



TEL:058-327-3100

2015年5月11日～
診察・予防接種
インターネット予約
QRコード

